

天仁屋小学校校内研修

1、研究主題

自ら学び取る子の育虞
- 総合的な学習「わたしたちにできること」(福祉)の学習を通して-

2、研究主題設定の主旨

21世紀の教育は〔生きる力〕の育成を基本とし、知識を教え込む教育から、子どもたちが自ら学び、自ら考える教育の転換を目指す。それは知・徳・体のバランスのとれた教育を展開し、豊かな人間性や問題解決能力、たくましい体を育むことであり、また生涯学習社会を見据えつつ、その基礎的な資質を育成することである。「総合的な学習の時間」はこのような期待を担って新設される。

本校は山間へき地校で、児童は素直で明るく、与えられたことには取り組むが、積極性に乏しく、自分の考えを表現したり、他にわかりやすく発信したりすることが不得手である。また教科の学習においては、基礎学力の充実が課題となっている。

このような今日的な教育課題と本校の児童の実態を踏まえて、「総合的な学習の時間」のねらいから学校行事を見直し、各教科、道徳、特別活動などと内容の関連を図った横断的・総合的な単元を構想し、その中で子どもの興味・関心・疑問に基づいた課題を追求する学習を通して「自ら学ぶ」児童の育成を図ることにした。学習の過程で、児童が多様な課題解決の方法を選択して問題を追求したり、自然や人々との豊かな出会いなどを経験することによって、学び方やものの考え方などがよりよく身につくのではないかと考え、本研究主題を設定した。

3、研究仮説

仮説 1

教科、道徳、特別活動などと内容の関連を図った横断的・総合的な単元を構想し児童の興味・関心にもとづいた課題を設定することによって、児童は意欲的に学ぶであろう。

仮説 2

問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れることによって、児童は進んで追求活動に取り組み、学び方やものの考え方がよりよく身につくであろう。

仮説 3

課題設定、自力解決、学習のまとめなどの学習の各段階に、練りあいや成果を共有したりする場を適切に設定することによって、共に学び合う態度や資質の育成が図れるであろう。

4、研究の方針

- 1 研究主題や研究内容などについて、全職員が共通理解して研究を進める。
- 2 全学級で研究主題に即した授業研究を行う。
- 3 計画に位置づけられた研究日以外にも、必要に応じて会を招集する。
- 4 各教科や領域等においては、日々の授業の中で問題解決的な学習を取り入れるなどして自ら学ぶ子の育成に努める。
- 5 学力向上対策を日々の実践に位置付け、校内研究主題との効果的な関連を図りながら推進する。
- 6 研究先進校の授業を参観したり資料などを収集したりして、理論と実践の双方から研修を深め、自らの自己変革に努める。

5、研究の内容及び方法

(1) 研究の内容

本校の児童の実態や地域の実態から、横断的・総合的な画題（環境、国際理解、福祉健康、情報など）の中からどのような課題を選択するか。

主題や学習活動をどのように決定するか。

j

問題解決的な学習過程や体験的な活動をどのように取り入れるか。

子ども主体の学習にするために、教師はどのような支援をすればよいか。

子どもがゆとりをもって学習するには、日課長や時間割をどのように工夫すればよいか

子どもが自分の学習の仕方や過程や成果を、自覚したり振り返ったり修正したり出来る力をつけるには、評価の在りかたをどのように工夫すればよいか。

(2) 研究の方法

文献や先達の研究資料を通して

授業研究を通して

6、研究の計画

(1) 年次計画

第1年次（平成11年度） ー研究の内容

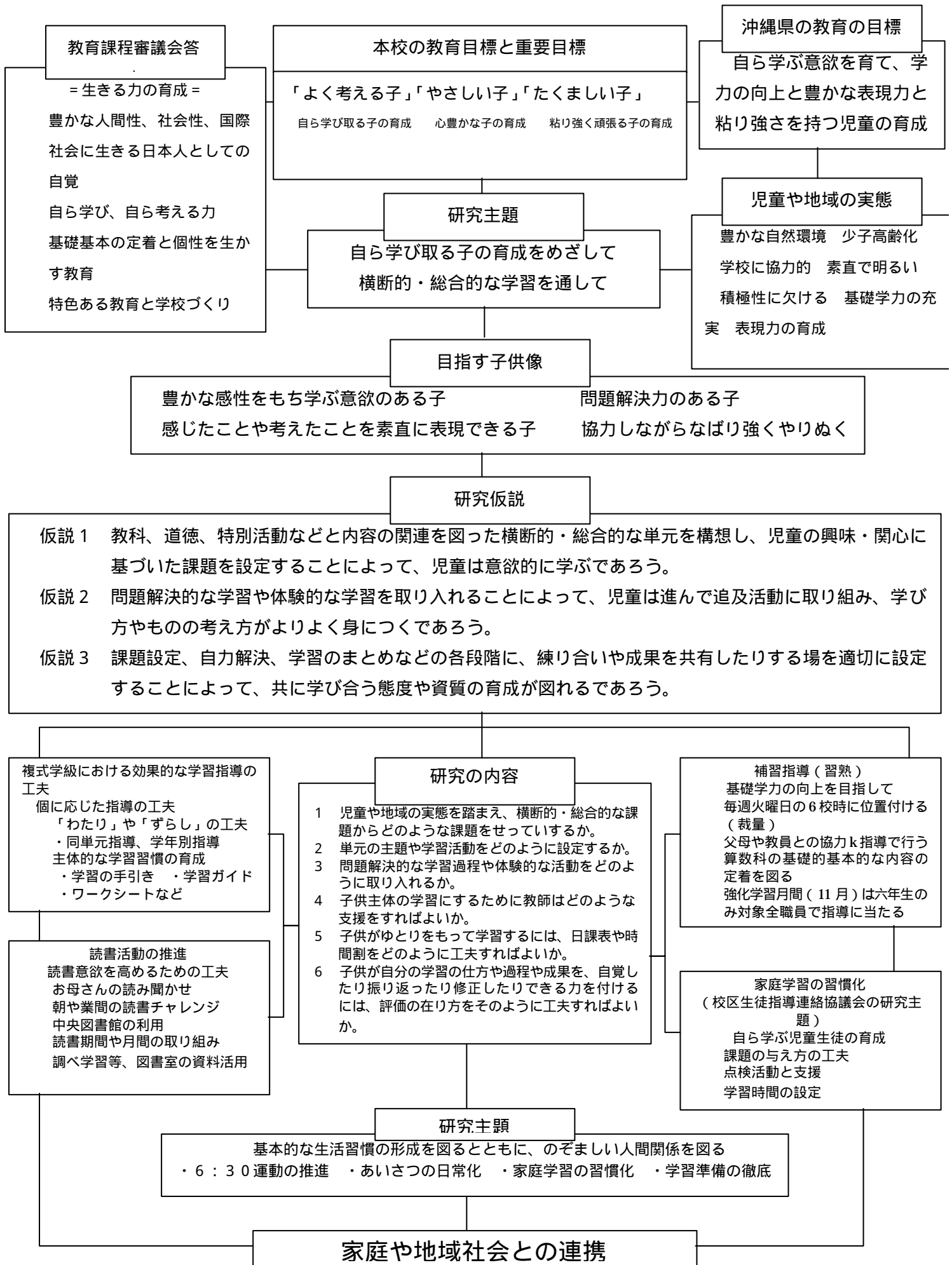
第2年次（平成12年度） ー研究の内容

第3年次（平成13年度） - 研究の内容 ~

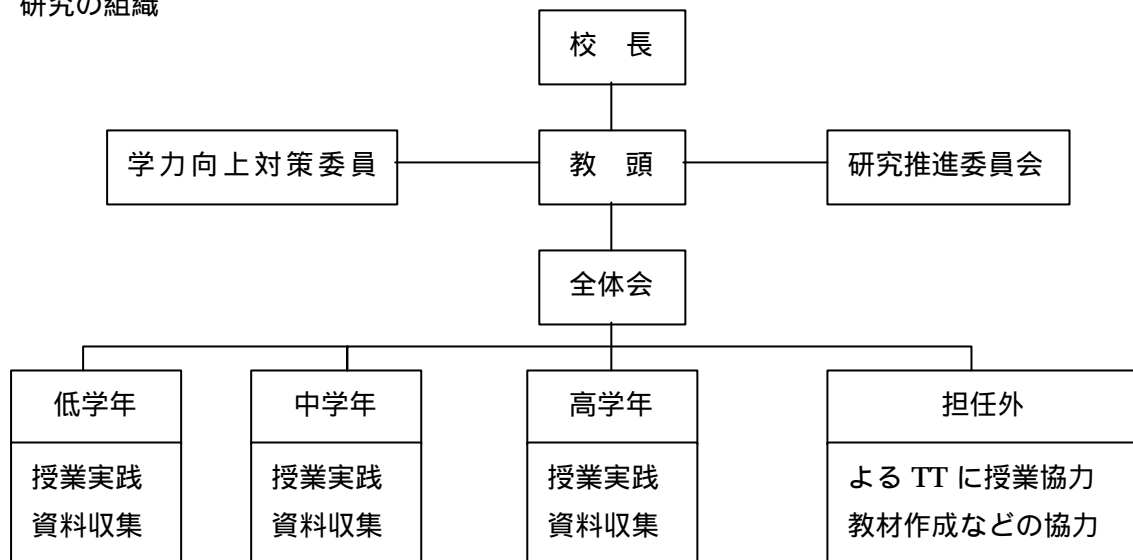
(2) 第2年次の研究計画と経過

回	月日(曜日)	研修内容	提案者
1	4.5(水)	県、市の施策や努力点、学力向上対策について	校長、教頭
2	4.6(木)	研究主題、副主題、研究の内容など	研究主任
3	4.14(金)	本校の総合的な学習について	・
4	5.8(金)	・	・
5	5.26(金)	理論研修「総合的な学習について」 講話 国頭教育事務所指導主事 渡久地健先生	・
6	6.13(火)	お年寄りとの交流会について	・
7	6.30(金)	総合的学習の進め方について	・
8	7.24(月)	コンピュータ研修	・
9	8.1(火)	コンピュータ研修 (名護マルチメディア館)	・
10	8.21(月)	指導計画の検討	担任
11	9.8(金)	校内研修報告書の検討	研究主任
12	9.29(金)	研究授業指導案作成	・
13	10.6(金)	発表原稿の作成、検討	・
14	10.20(金)	公開授業について	・
15	10.26(木)	全国へき地研究大会 公開授業(三原小にて)	担任
16	11.17(金)	総合的学習の反省、課題について	研究主任
17	12.1(金)	教育課程編成について	校長、教頭
18	12.22(金)	・	・
19	1.12(金)	・	・
20	1.26(金)	・	・
21	2.9(金)	・	・
22	2.23(金)	・	・
23	3.2(金)	次年度の校内研修計画について	研究主任

研究の全体構想

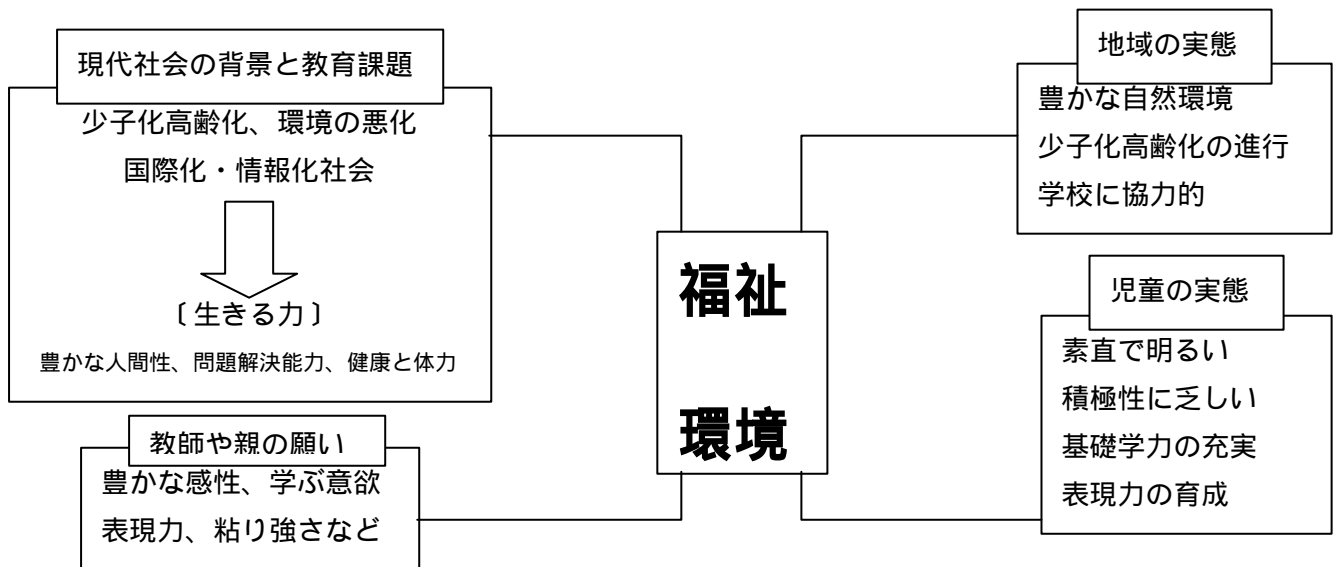


8、研究の組織



9、研究の概要

- 1 横断的・総合的な単元について
 - (1) 単元構成の視点



地域や子どもの実態から、本校で取り上げる「横断的・総合的課題」としては地域の豊かな自然環境を生かした「環境」と、少子高齢化が進む中で思いやりやボランティア体験など豊かな心の育成につながる「福祉」についてとりあげることにした。

本年度は、従来行われてきた「平和学習会」や「地域のお年寄りとの交流会」の学校行事を「福祉」の視点でとらえ、ねらいを「総合的な学習の時間」から見直し、教科、道徳、特別活動などと内容の関連をもたせた合科的・関連的な単元を構成する。なお「環境」については次年度にとりあげることにした。

(2) 時間の取り方について

本年度は、新教育課程への移行期間の1年次であるため、年間計画に位置付けられた教科、道徳、学校行事、総合的な学習の時間（本市の今年の基準は35時間）でカウントする。それ以外の時間は、裁量の時間（課外）として実施する。

2 育みたい力

- (1) 課題に気付く力（豊かな感性）
- (2) 学び方がわかりそれを活用する力
- (3) やりぬく力（実践力）
- (4) 伝える力（コミュニケーション能力）
- (5) 自分を振り返る力（自己評価力）

10, 各学年の取り組み

総合的な学習へ繋ぐための横断的・総合的な生活科の単元構想(1, 2年)

単元構成 総合計 35 時間(学活 3・生活 9・国語 4・体育 1・図工 8・道徳 2・行事 4, 裁量 4)

ねらい 地域や施設のお年寄りや、自分の祖父, 祖母とさまざまなふれあい体験をすることによって、人とかかわりの楽しさを知る。

植物の世話や観察活動を通し、自分に関わる身のまわりの人のこと、事象(課題)に気付き、じぶんにできることを考え伝えたり、実行する力を身につける。

時期	過程	学習の流れ (意識の流れ)	日常生活 (朝の会 帰りの会、裁量、放課後)	行事	学級活動	道徳	教科
四月	みつける	ボランティアに興味を持つ (ボランティア何だろう) (よしやってみよう) 朝のボランティア活動について話し合い、進んで実践する。					
五月	かかわる	ふれあい、体験する、何をしている所かな (どんな事をするのかな) (一緒にすると楽しいな) (こんなにお年寄りがいるんだな) 計画を立て実行する [喜んでもらいたいな] [私たちに、できることは何かな] (やってみよう) 交流をする (うれしいな)(楽しいな) 野菜を育ててよかった。 教えてもらってよかった。 野菜をプレゼントしたいな [喜んでもらえるかな] 楽しいな	<ul style="list-style-type: none"> 実態調査の実施 朝のボランティア活動で、水かけと観察を継続しておこなう 厚生園訪問の計画 裁量(3) 名護厚生園訪問 ボランティア活動で 水かけと観察 朝の活動 野菜の収穫をしよう お礼のお便り 招待のお手紙を書く 朝の会 1 交流会で唄うわらべうたを練習する。 夏休み 自分の祖父、祖母とふれあう。ききとり活動もする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学活(1)オリエンテーション 厚生園を訪問するためのオリエンテーション(学活) 体育(1) 名護厚生園での出し物を練習しよう 道徳(1) 体験して考えたりわかったことを話し合おう。 道徳(1) 皆さんありがとう(感謝) 学活(1) 交流会の計画を立てよう 地域のお年寄りとの交流会(行事2) 昔のおもちゃづくりを体験しよう 国語(4) 作文を書こう 活動のまとめをしよう(生) 思い出発表会(生活1)(本) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活(1) 夏の野菜をうえよう 図工(4) 野菜をうえたことを絵にかこう 平和学習行事(2) 地域に残る場で戦争体験者の話を聞く 生活(3) 野菜パーティーをしよう 図工(4) 絵をかこう 		
六月							
七月							
九月	はっしんする	活動を振り返る 学習した事を発表する。 [よかったな、楽しかったな]					
十月							

(2) 学習計画(1, 2年)

過程	領域・単元	めあて	学習内容・活動	準備	形態・場所
みつける /かかわる	学活1) オリエンテーション	これからの学習の内容を知り意欲をもつ。	福祉「や 高齢化社会」について話を聞く。学習内容を知り考	掲示資料 学習計画表	全校 図工室
	生活1) 夏の野菜を植えよう	夏の野菜をうえる。	おじいさんと一緒に野菜の苗を植える。育て方を考える。	苗 スコップ じょうろ	教材園
	図工4) 野菜をうえたことを絵にかこう	体験したことを絵に表そう	体験したことを思い出して、生き生きとした絵を描く。	画用紙 クレヨン 絵の具	教室
	学活1) 厚生園に行くオリエンテーション	厚生園の訪問でしたいことを話し合おう	どんな事をしたいか話し合う。	学級会 ノート	学級教室
	体育1) 出し物の練習	喜んでもらえるよう練習しよう	エイサーの練習	太鼓 ばち	体育館
	裁量3) 老人ホーム名護厚生園の訪問	お年寄りとすすんでふれあおう。	おしゃべりやレク出し物エイサーとうた「ていんさくぬ花」昼食の配膳体験	出し物に使う道具 太鼓・ばち	全校 厚生園
	平和学習会 行事2)お年寄りに戦争体験を聞く	戦争の悲惨さを知り平和の大切さを学ぶ。	お年寄りに戦争の体験をさく。話を聞いて平和、命の尊さを考える。	ワーク	全校 地域に残る壕
	道徳1) 体験して考えたり分かったことを話し合おう。	名護厚生園を訪ねて感じたことを話し合おう	老人ホームに行ってお年寄りとおふれあひ、感じたことを話し合おう。	写真	学級 教室
道徳1) みなさんありがとう	生活科でのおじいさんとのふれあいや平和学習で体験して感じたことをもとに、お年寄りを敬う心をもつ。	生活科のやさいうえでお世話になったおかげで野菜がたくさん収穫できた事をふりかえり、お年寄りの知恵のすごさを見直し、かんしゃの気持ちを持つ。戦中・戦後を力を尽くして生きてきたお年寄りのおかげで平和な今、私達があることを感謝する気持ちをもつ。	写真 ワーク	学級 教室	

過程	領域・単元	めあて	学習内容 活動	準備	形態・場所
か か わ る ／ は っ し ん す る	〔生活3〕 サラダパーティを しよう	パーティをひら き感謝の気持 ちを伝えよう。	サラダパーティをして、 収穫の喜びを味わう。 お世話になったおじい さんを招き、感謝の気 持ちを伝える。	エプロン 調理の材 料掲示物 お礼の手 紙	調理実習 家庭科室 教室
	〔代表委員会〕 地域のお年寄り との交流会の計 画を立てよう。	地域のお年寄 りが楽しめるよ うな交流会の 計画をたてる。	上級生の代表委員会 に参加し、お年寄りと の交流会でやりたいこ とを考え、意見を出し 合いプログラムを決め る。 役割分担す	ワークシ ート	全校 児童会室
	〔学活1〕 地域のお年寄り との交流会の計 画を立てよう。	地域のおとし よりとふれ合う 計画を立てよ う	代表委員会で話し合っ たことをもとに、私たち がしたいこと(出し物) や、プレゼントについて 話し合う。	学級会 ノート	学級 教室
	〔行事2〕 お年寄りちの交 流会	お年寄りに喜 んでもらえるよ うに会を運営し ふれあいを楽し む	あいさつ うた『ていんさぐぬ花』 エイサー 各学年のだしもの わらべうたの踊り 「じんじん」 ふれあいタイム (昔のおもちゃづくり) おやつタイム	放送機器 BGM ソテツの葉 アダンの葉 はさみ カッター お茶 おやつ	全校 体育館
	〔図工4〕 楽しかった1日	おとしよりとふ れあって楽し かったことを絵 に表そう。	これまでのふれあい体 験を思い出し、他のし かったことを絵に描く。	画用紙 クレヨン 絵の具	個別 教室
	〔国語4〕 かんじたことを (かく事を集めて) 作文	お年寄りとの ふれあいで楽 しかったこと、 かんじたことを 作文に書く。	これまでの活動を振り 返し、活動のまとめとし てお年寄りとのふれあ いを通して感じたこと、 楽しかったことを文で	作文用紙 写真 日記	個別 教室
	〔生活4〕 活動のまとめをし よう。	これまでの活 動を振り返り 他の人に伝え るにはどのよう にまとめたら いか考え、準	これまでの活動を振り 返る。 発表する内容や、方法 や役割分担などを決め る。	絵、写真 作文 日記	一斉 話し合い 教室
	本時 〔生活1〕 思いでの発表会	これまでの活 動をふりかえり 私達にできる ことをつたえよ	学習活動を振り返り、 したことや思ったことな どを声の大きさや発声 などに気をつけて発表	発表資料 作文 絵	全校 一斉 教室

総合的な学習の時間の単元構想 (3・4年)

単元構成 総合計45時間 (総合的な時間27 行事4 道徳4 学級活動1 体育1 ALT8)

ふらい お年寄りと触れ合う体験を通して、自分にできることは何かに気づく。

学習活動の計画や実践を通して、自ら活動する実践的な態度を身につける。

時期	過程	学習の流れ (意識の流れ)	日常生活 (朝 帰りの会、裁量、放課後)	行事	組合	道徳	学級活動	教科
4月	みつける	ボランティアに興味を持つ (今年は何をしようかな)	実態調査の実施					
5月		体験し、課題を見つける (喜んでくれたよ) 計画を立てて実行する (今年は何をしよう)	代表委員会 名護厚生園訪問の計画を立てよう					
6月	かかわる		代表委員会 お年寄りとの交流会の計画を立てよう。プレゼントを作ろう	平和学習会 地域に残る場で戦争体験者の話を聞く				
7月		自分たちの地域でできる活動しよう (わたしのおじいちゃんおばあちゃんにも喜んでほしいな)		地域のお年寄りとの交流会				
9月	はっしんする	交流を楽しむ (楽しいな うまくいったよ)	家庭学習 みんなのための福祉読本「福祉の心」を読もう	昔のおもちゃ作り				
10月		活動を振り返る (これからもがんば)	敬老の日について話し合おう					

全校オリエンテーション

- 道徳 「やさしいなみだ」
- 課題作り
- 福祉施設 (名護厚生園) を訪ねる
- 体育 名護厚生園での出し物の練習
- 道徳 体験をふりかえりっ
- 地域のお年寄りを訪ねてみる
- 学級活動 お年寄りとの交流会の計画を立てる
- 道徳 体験をふりかえりっ
- お年寄りの世話をしている人 (ヘルパー) の話を聞こう
- 道徳 「人ぐらしのおばあちゃん」
- 地域のお年寄りを訪ねてみる
- 活動のまとめをしよう
- 思い出の発表会 「伝えよう、わたしたちにできること」・本

(2) 学習計画 3, 4年

過程	領域・単元	めあて	学習内容・活動	準備	形態(場所)
み つ け る / か か わ る	[総合] オリエンテーション	・総合的学習の内容が わかり課題を持つ。	・「福祉」や「高齢化社会」につ いての話を聞く。 ・学習内容を知り、自分なりの 課題を持つ。	・掲示資料 ・学習計画表	・全校 (図工室)
	[総合] 課題作り				
	[道徳] 「思いやりの心」	・相手の立場や気持ち を考えて温かく親切 にする心情を育てる	・人に親切にしだこと、されたこ とを思い出して発表する。 ・「思いがけない春」を読んで 主人公の心情を考える。	・ワークシート	・一斉 (教室)
	[総合] インターネットで 他校の福祉活動を 調べよう。	・インターネットの使 い方を知るとともに 福祉活動の多様性に 気づく。	・インターネットの使い方の説明 を聞く。 ・友達と協力して実際に情報を収 集する。 ・得た+奇報から他校の福祉活動を 学ぶ。	・ファイル	・グループ
	[E代表委員会] 厚生園訪問の計画 をたてよう。	・入居者が楽しめるよ うな交流会の計画を 立てる。	・交流会の意変について説明を聞 く。 ・入居者の立場にたって、意Qを 出し合いプログラムを決める。 ・役割分担をする。	・記録用紙。	・3年以1 (児童会室)
	[道徳] 「東風園の人たち」	・勤労の意義を理解し 社会のために奉仕し ようとする態度を養 う。	・自分かやりたい仕事について話 合う。 ・自分たちができることでみんな のためになることはどんなこと があるか考える。	・ワークシート	・一斉 (教室)
	[総合] 厚生園を訪ねよう。	・お年寄りと進んで触 れ合い楽しむ。 ・お年寄りにインタビ ューし、お年寄りの ことを知る。	・あいさつ ・出し物「エイサー」「ていんさぐ ぬ花」 ・インタビュー	・ワークシート	・全校 (厚生園)
	[学活] お礼の手紙を書こう	・お礼の気持ちを手紙 で表す。	・お礼の手紙を書く。	・色画用紙	・グループ (教室)
[総合] 地域のお年寄りを 訪ねよう	・地域の一人ぐらしの お年寄りを訪ね交流 を持ちお年寄りに喜 んでもらう。	・公民館で一人ぐらしのお年寄り について調べる。 ・分担をし、手紙を書き、届ける。 (ハッピーメールデー)	・住宅地図 ・色画用紙	・一斉 ・公民館	
[総合・裁量] 地域のお年寄りとの 交流会の準備をしよ う。	・地域のお年寄りとは ぶれ合うために招待状 を作り、プレゼント を作る。	・お年寄りに喜ばれる招待状や プレゼントを作成する。	・色画用紙		

過程	領域・単元	めあて	学習内容・活動	準備	形態(騒)
/はっしんする	〔裁量〕 お年寄りへのプレゼントを作ろう。	* 地域のお年寄り と触れ合うため にプレゼント作 りをする。	* 喜ばれるプレゼントを作る。 * 分担して作る。	* 色画用紙	* 学級 (教室)
	〔行事2〕 お年寄りとの交流会。	* お年寄りに喜ん でもらえるよう に会を運営し、 触れ合いを楽し む。	* 歌 * エイサー * 各学年の出し物 * 触れ合いタイム(昔のおも ちゃ作り) * おやつタイム	* 放送機器 * BGM * 太鼓 * リツの葉 * アダンの葉 * はさみ	* 全 (磁)
	〔道徳1〕 体験して、考 えたこと、分 かったことを 話し合おう。	* お年寄りとの交 流会を通して考 えたこと、分か ったことを話し 合おう。	* お年寄りとの交流会を通して 考えたこと、分かったことを話 し合う。	* ワーク シート	* 学級 (教室)
	〔家庭学習〕 みんなのため の福祉読本 「福祉の心」 を読もう。	* 福祉の心を考え 意欲を持つ。	* 親子で読書し、感想を話し、 福祉について一緒に考える。	* 智心」 * ワーク シート	* 個別 (家庭)
	〔総合1〕 お年よりの世 話をしている 人(ヘルパー)の話を聞こ う。	* 相手の身になっ て思いやり、進 んで親切にしよ うとする心情を 育てる。	* お年寄りの世話をしている人 の話を聞き、自分達の学習の 参考にする。	* ワーク シート	* 学級 (地域)
	〔道徳1〕 「一人暮らし のおばあちゃ ん」	* お年寄りに対し て思いやりの心 をもって接し、 進んで親切にし ようとする心情 を育てる。	* 「一人暮らしのおばあちゃ ん」 を読んで話し合う。 * 次の活動内容を確認し、意欲 を持つ。	* ワーク シート	1置
	〔総合5〕 進んで親切に ...お年寄りを たずねてみよ う。	* 相手の身になっ て思いやり、進 んで親切にしよ うとする心情を 育てる。	* お年寄りの家を訪ね、清掃、 お話を する。 * 身近にいる、お年寄りのこと を 発表する。	* ワーク シート * 清掃用具	* 学級 (教室)
	〔総合8〕 活動のまとめ をしよう。	* これまでの活動 を振り返り他の 人に伝えるには どのように発表 したらいいか考 え準備する。	* これまでの活動を振り返る。 * 発表することと発表方法を決 め * 発表し、発表の練習をする。	* とりのこ 用紙 * 画用紙 * 原稿用紙 * ワークシ ート集	* グループ (教室)
〔本時〕〔総 合1〕伝えよ うわたしたち にできること	* これまでの活動 を振り返り自分 たちができること を他の人に伝える。	* これまでの活動を振り返り自分 たちができることを他の人に 発表する。	* 放送機 器 * 各自の 資料	* 全校 (図書 室)	

総合的な学習の時間の単元構想 (5・6年)

単元構成 総合計44時間 (総合的な時間27 行事4 道徳4 学級活動1 体育1 ALT8)

2 くらい お年寄りと触れ合う体験を通して、自分にできることは何かに気づく。

学習活動の計画や実践を通して、自ら活動する実践的な態度を身につける。

時期	過程	学習の流れ (意識の流れ)	日常生活 (朝 帰りの会、裁量、放課後)	行事 組合	道徳	学級活動	教科
4月	みつける	テーマに興味をもつ 去年の活動は……	実態調査の実施	全校オリエンテーション	道徳「思いやりの心」		
5月	5月	今年は…をがんばるぞ					
6月	かかわる	福祉の仕事や考え方にふれ意識をもつ こんな仕事があるんだね	インターネットでの調べ学習。	課題作り	道徳「東風園の人たち」	学活「厚生園にお礼を書こう」	
		自分にできる福祉活動を考える。 こんな活動があるんだね		インターネットで他校の福祉活動を調べよう			
7月	はっしんする	自分にできる福祉活動を体験する。 わたしにもできるぞ よるこんでもらえたよ ハッピーメールデー	代表委員会 裁量 厚生園訪問の計画をたてよう	福祉施設 (厚生園) を訪ねよう	道徳「体験をふりかえって話し合おう。」		
		地域でできる活動に挑戦する。 わたしたちのおじいちゃんおばあちゃんに喜んでほしいなあ。		地域のお年寄りを訪ねよう			
9月	10月	交流を楽しむ	代表委員会 裁量 お年寄りとの交流会の計画を立てよう	総合 お年寄りとの交流会の準備をしよう。			
			代表委員会 裁量 交流会のプレゼントや招待状をつくろう	平和学習、総合 行事 戦争の体験を聞く。			
				行事 お年寄りとの交流会 共のお楽しみ作り			
				お年寄りと話そう 聞いて調べよう			
				活動のまとめをしよう			
				思いで発表会 [本時] (伝えよう、わたしたちにできること)			

過程	領域・単元	めあて	学習内容・活動	準備	形態(場所)
みつける	[総合] オリエンテーション	・総合的学習の内容が わかり課題を持つ。	・「福祉」や「高齢化社会」につ いての話を聞く。 ・学習内容を知り、自分なりの 課題を持つ。	・掲示資料 ・学習計画表	・全校 (図工室)
	[総合] 課題作り				
	[道徳] 「思いやりの心」	・相手の立場や気持ち を考えて温かく親切 にする心情を育てる	・人に親切にしたこと、されたこ とを思い出して発表する。 ・「思いがけない春」を読んで 主人公の心情を考える。	・ワークシート	・一斉 (教室)
	[総合] インターネットで 他校の福祉活動を 調べよう。	・インターネットの使 い方を知るとともに 福祉活動の多様性に 気づく。	・インターネットの使い方の説明 を聞く。 ・友達と協力して実際に情報を収 集する。 ・得た情報から他校の福祉活動 を	・ファイル	・グループ
	[代表委員会] 厚生園訪問の計画 をたてよう。	・入居者が楽しめるよ うな交流会の計画を 立てる、	・交流会の意義について説明を聞 く。 ・入居者の立場にたって、意見 を出し合いプログラムを決める。 ・役割分担をする。	・記録用紙。	・3年以上 (児童会室)
	[道徳] 「東風園の人たち」	・勤労の意義を理解し 社会のために奉仕し ようとする態度を養 う。	・自分かやりたい仕事について話 合う。 ・自分たちができることでみんな のためになることはどんなこと があるか考える。	・ワークシート	・一斉 (教室)
	[総合] 厚生園を訪ねよう。	・お年寄りと進んで触 れ合い楽しむ。 ・お年寄りにインタビ ューし、お年寄りの ことを知る。	・あいさつ ・出し物「エイサー」「ていんさ ぐ ぬ花」 ・インタビュー	・ワークシート	・全校 (厚生園)
かかわる	[学活] お礼の手紙を書こう	・お礼の気持ちを手紙 で表す。	・お礼の手紙を書く。	・色画用紙	・グループ (教室)
	[総合] 地域のお年寄りを 訪ねよう	・地域の一人暮らしの お年寄りを訪ね交流 を持ちお年寄りに喜 んでもらう。	・公民館で一人暮らしのお年寄り について調べる。 ・分担をし、手紙を書き、届け る。	・住宅地図 ・色画用紙	・一斉 ・公民館
	[総合・裁量] 地域のお年寄りとの 交流会の準備をしよ う。	・地域のお年寄りとは れ合うために招待状 を作り、プレゼント を作る。	・お年寄りに喜ばれる招待状や プレゼントを作成する。	・色画用紙	

過程	領域・単元	めあて	学習内容・活動	準備	形態(場所)
は っ し ん す る	[代表委員会] お年寄りとの交流会の計画をたてよう。	・お年寄りが楽しめるような交流会の計画を立てる。	・交流会の意義について説明を聞く。 ・お年寄りの立場に立って意見を出し合いプログラムを決める。 ・役割分担をする。	・記録用紙	・全校 (児童会室)
	[総合・行事1] お年寄りから戦争の体験を聞く。	・戦争の悲惨さを知り平和の大切さと命の尊さを学ぶ	・お年寄りから戦争の体験を聞く。 ・聞いて学んだことをまとめる。	・ワークシート	・全校 (ごう)
	[行事] お年寄りとの交流会	・お年寄りに喜んでもらえるように会を運営し触れ合いを楽しむ。	・司会進行 ・エイサー ・各学年の出し物 ・触れ合いタイム(昔のおもちゃ作り) ・おやつタイム	・放送機器 ・BGM ・ソテツの葉 ・アダンの葉 ・はさみ ・お茶おやつ	・全校 (体育館)
	[総合] お年寄りに聞いて調べよう。	・進んでお年寄りと話し、教えてもらう。 ・お年寄りを敬う心をもつ。	・お年寄りを訪ね。 「うかみまあち」について聞く。 ・うかみまあちのそばで昔何をしたか。 ・うかみまあちは戦争のときどうだったか。 ・うかみまあちについてどう思うか。 ・うかみまあちらことで子供だちに言いたいことは何か	・ワークシート	・グルー プ (お年寄りの家)
	[総合] 活動のまとめをしよう。	・これまでの活動を振り返り、他の人に伝えるにはどのように発表したらいいのか考えて準備する。	・これまでの活動を振り返る。 ・発表することと発表方法を決める。 ・準備し、発表の練習をする。	・TP用紙 ・ワークシート	・グループ (教室)
	[総合]本時 (思いで発表会) わたしたちにできること。	・これまでの活動を振り返り、自分たちにできることを他の人に伝える。	・これまでの活動を振り返り、自分たちにできることを発表する。		・全校一斉

11, 実践資料 活動まとめ(公開授業本時案)10月26日(木曜日)公開授業 場所 三原小

対象 天仁屋小学校 全校児童15人(1年生3人、2年生2人、3年生4人、4年生1人、5年生4人、6年生1人)

指導者 1・2年担任 金城尚子(T1) 3・4年担任 森田茂(T2) 5・6年担任 大城直子(T3)

(1) 単元名「わたしたちにできること」(福祉)

本時「伝えよう わたしたちにできること」(1・2年生活9/9、3・4年27/27、5・6年27/27)

(2) ねらい

- ・ これまでの学習を振り返り、実践を発表しあうことによって成果を共有化すると共に、発表力や表現力をそだてる。
- ・ お互いの実践のよさや努力を認め合い、今後の生活や学習に生かそうとする意欲を持つ。

(3) 展開

過程	学習の流れ	学習の留意点及び教師の支援	準備
導入	T2 はじめ	学習の目当てと学習の流れを確かめる。 ・本時は単元のまとめであることを知らせ、お互いの実践の発表を聞き、感想や意見交換を行う。	・ 掲示資料 (めあて、学習の流れ) ・ 移動黒板 ・ テーブル
	T1 1・2年生の発表	発表する時や聞く時の注意事項を確認する。 ・聞く よいところを見つけながらしんけんに聞く。 ・発表 はっきりとした発声でわかりやすく。 発表と話し合いは、高学年の児童の司会で進める。	
展開	質疑	絵本による1、2年の発表 1、2年生のめあて 「これまでに学習したことの中から、思い出に残ったことを絵や文で伝える。」	・ 発表資料
	T2 3・4年生の発表	ビデオ等による3、4年の発表 「これまでの活動を振り返り、自分たちに出来ることを他の人に伝える。」	
終末	質疑	OHPによる5、6年の発表 「これまでの活動を通して考えたことを分かりやすく発表し、お互いの実践の良さを認め合い、今後の生活や学習に生かす。」	・ 発表資料
	T3 5・6年生の発表	話し合い お互いの活動の良かった点などについて話し合う。 (相互評価) 今後、私達ができることについて話し合い、提案する。 本時や単元全体の学習を通して、良かった点や改善点などについて振り返り、ワークシートに書く。 友達の感想を聞いて深め合い、実践化への意欲を持つ。	
終末	T1, 2, 3 話し合い		・ ワークシート
終末	T3 まとめ		・ ワークシート

(4) 評価

これまでの学習を通して心に残ったことを、自分なりの方法で他の人に伝えることが出来たか。

お互いの実践のよさや努力を認めあえたか。

自分の「できたこと」や「できなかったこと」などについて自覚し、今後の生活や学習に生かそうとする意欲がもてたか。

年 名前

「伝えよう！わたしたちにできること」

発表会での自分のめあてを書きましょう。

--

お友達の発表を聞いてわかったことや思ったことを書きましょう。(話し合い)

発表者	わかったこと・思ったこと・よいところ・直した方がいいところ・疑問など

これから、わたしたちにできそうなことについて話し合ったことを書きましょう。(話し合い)

これまでの学習を振り返りましょう。(よくできた だいたいできた がんばろう)

振り返りのこうもく	感想を書きましょう
かたいをもち学習できたか	今回の学習について -----
すすんでお年寄りとふれあう ことができたか	-----
いろいろな方法で調べること ができたか	-----
調べたことを記録したりまと めたりすることができたか	「わたしたちにできること」の単元全体について -----
わかりやすく発表することが できたか	-----
しっかり聞き、質問や意見を言 うことができたか	-----